

お使いになる前に必ず本書をお読みになり、その後はお手元で大切に保管してください。

最初にセットの内容をご確認ください。
※本製品は下記内容と異なる場合があります。

 交換部品／オプションを含む製品情報は web ページでご確認いただけます。
https://www.hakko.com/doc_fx805

注記：説明中の工程で重要な手順や事項を示しています。

感電や故障等の恐れがありますので以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠️ 注意

- 本製品を使用する前に、全ての説明をお読みください。
- はんだ付け以外の用途で使用しないでください。
- はんだかすを取るために、こて部を作業台に打ちつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- はんだ付けする際、煙が発生しますので、よく換気をしてください。
- ステーションの吸気口・排気口はふさがないでください。(図 1)
- 付属品／交換部品／オプションは純正部品を使用してください。
- 本製品を改造しないでください。
- 損傷したコードやプラグを使用しないでください。誤動作や事故の原因になります。
- 落下またはその他の原因で破損した場合は本製品を使用しないでください。
- コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- 本製品を濡らさないでください。また、濡れた手で使用しないでください。
- その他危険と思われる行為は行わないでください。

图 1

吸气口

排气口

- 全長と重量はコードを除きます。
- 本製品は静電気対策されています。
- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますが、あらかじめご了承ください。

1. プラスチックは、絶縁物ではなく導電性プラスチックです。修理時には十分注意を払い、活電部の露出・絶縁材の損傷がない様部品交換、修理を行ってください。
2. 必ず接地して使用してください。

- 口金の角度はツマミで 45 ± 10 度に変更できます。
- クリーニングスポンジは水を含ませてから使用します。
- こて台ベースはリリースボタンを押しながら外します。
- こて先挿入台にこて先を収納できます。
- こて台を使って、こて先交換が手早く、安全に行えます。

ツマミ

口金

こて先挿入台

リリースボタン

こて台ベース

注記 こて先挿入台を使うと、こて先がこて部の奥までしっかり挿入できます。

図 1

こて先取外し
アタッチメント

右側の溝

※イラストのこて先は T37 です。

こて先挿入台

こて部

こて先だけこ
残ります。

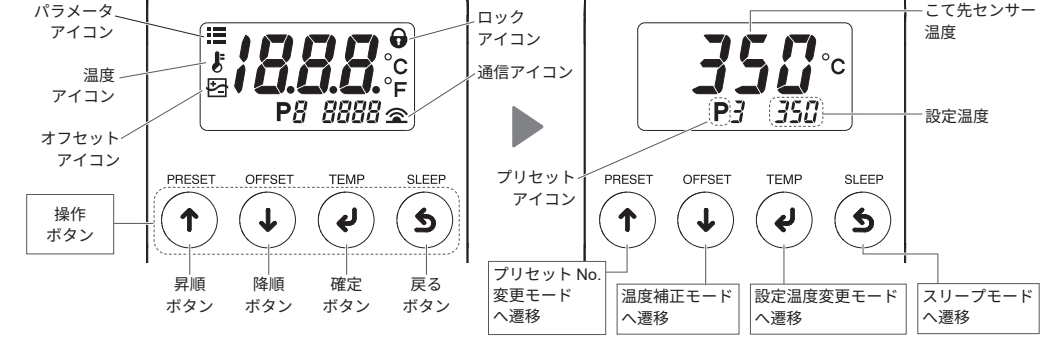
交換後のこて先は高温状態が長く続きます。やけどに注意してください。

4. 使用方法（つづき）

4-3. 操作方法

⚠️注意
こて部をこて台に置いてから電源を入れてください。

電源を入れると以下のようにディスプレイが遷移します。



■ 設定温度の変更

TEMP ← を押す	このボタンを1回押すと「 Ⓛ 」マークが表示され、「設定温度変更モード」へ遷移します。このモードは設定温度を変更するときに使います。
----------------------	---

▼ 400°C に変更する場合



通常画面になってから **↑** ボタンを押すとプリセット No. 変更モードへ遷移します。

■ プリセット No. の変更

本製品はよく使う設定温度を5つ登録し、その登録 No. を選ぶことで設定温度を変更します。

PRESET ↑ を押す	このボタンを1回押すと「プリセット No. 変更モード」へ遷移します。このモードは登録した5つの温度のうち、いずれかを選択します。 (工場出荷時の設定温度 P1 250°C (600°F)、P2 300°C (700°F)、P3 350°C (750°F)、P4 400°C (800°F)、P5 450°C (850°F))
------------------------	--

▼ P4 (400°C) に変更する場合



- 注記** 各プリセット No. の登録温度は「パラメータ No. 23」で変更できます。
(別紙の「今すぐできるパラメータ設定」を参照)
- 注記** 設定温度の変更を制限したい場合は「パラメータ No. 14」の設定を変更します。
(別紙の「今すぐできるパラメータ設定」を参照)

5. パラメータの設定

本製品は、作業環境に合わせてパラメータの設定を変更することができます。別紙の「今すぐできるパラメータ設定」をご参照ください。

6. メンテナンス

⚠️注意
こて先に付着した酸化物をやすりがけで除去しないでください。こて先の寿命を早めます。

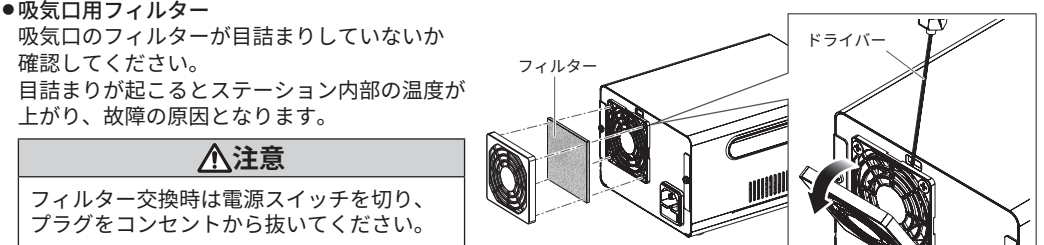
メンテナンスを実施することで製品を長く、より良く使っていただけます。

■ 日常のメンテナンス

設定温度	必要以上に高温でのご使用は、こて先の劣化を早め、熱に弱い部品にダメージを与えることがあります。常に可能な限り低い温度で使用してください。
作業前	目視でこて先の状態を確認してください。変形していたり、消耗が激しかったりする場合は交換します。こて先に酸化物や古いはんだがある場合はクリーニングスポンジでぬぐい取ってください。基板上に不純物が混入するとはんだ付け不良の原因になります。
作業中断時	こて部を高温に設定したまま長時間放置せず、スリープモードを活用してください。こて先の酸化が緩和されることで作業性を保持し、こて先の寿命をのばす効果が期待できます。長時間使用しない時は電源スイッチを切ります。 (「■ 作業の一時中断 (スリープモード)」を参照)
作業終了後	こて先をクリーニングスポンジできれいにぬぐってから新しいはんだで先端を覆ってください。こて先の酸化を防ぎます。

■ 定期的メンテナンス

- こて先
使用する温度や、はんだ・フラックスの質・量によってこて先の消耗の度合いが違います。使用状況に応じてメンテナンスを行ってください。
(1) 電源を ON にします。
(2) 温度を 250°C (482°F) に設定します。
(3) 温度が安定したらクリーニングスポンジでこて先をぬぐいます。
(4) はんだめっき部に黒い酸化物が付着している場合は、フラックス含有の新しいはんだを送り、クリーニングスポンジでぬぐいます。酸化物が除去できるまで繰り返し行います。その後、新しいはんだで覆います。
(5) 電源を切り、冷めてからこて先を外します。
こて先の先端以外にフラックスや異物が付着している場合は工業用アルコールでふき取ります。



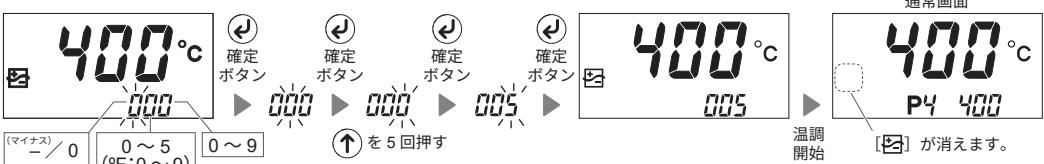
- こて部
ニップルに付着したフラックスや異物を除去してください。
こて部の内部で接点不良が起きる場合があります。

- こて台
・リリースボタンを押しながらこて台ベースを外し、こて台にたまったはんだ屑を取り除いてください。
・クリーニングワイヤーがはんだ屑で目詰まりしてきたら、使っていない面を正面に向けて使ってください。

■ こて先温度の補正（オフセット）

OFFSET ↓ を押す	このボタンを1回押すと「 Ⓛ 」マークが表示され、「温度補正モード」へ遷移します。このモードは設定温度とこて先温度の測定値が違う場合、温度を補正することができます。 (補正範囲：± 50°C / ± 90°F)
------------------------	---

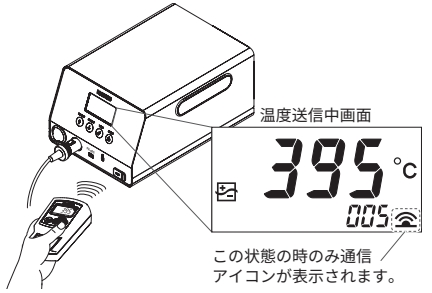
▼ 設定温度 400°C / 実測値 395°C で補正温度が 5°C の場合



※補正範囲を超える温度は入力できません。

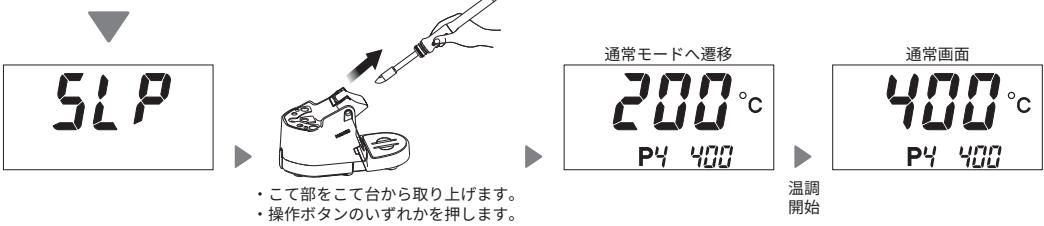
- こて先が劣化してくるとこて先温度が低くなりがちです。
こて先を交換してもこて先温度が変わりますのでオフセット値の再調整が必要です。実測したこて先温度に合わせ、こまめにオフセット値を変更してください。

- ハッコーの温度送信機能付きのこて先温度計ならオフセット値を自動で変更できます。
↓ ボタンを押してから測定値を送信してください。(右図参照)



■ 作業の一時中断（スリープモード）

SLEEP Ⓢ を押す	このボタンを1回押すとすぐに「スリープモード（こて先温度が設定されたスリープ中温度まで下がった状態）」に遷移します。こまめにこの機能を使うとこて先の酸化を緩和します。 (工場出荷時の設定：パラメータ No. 07 の設定が有効で、スリープ中温度が 200°C)
-----------------------	---



- 以下の場合はスリープモードへ遷移しません。
 - 設定温度が 300°C (570°F) 未満の場合
 - パラメータ No. 07 の設定を無効にした場合

- こて部をこて台に置いてから6分経過すると自動的にスリープモードへ遷移します。
作業にあわせてパラメータ No. 02 & 13 の設定を変更してください。(別紙の「今すぐできるパラメータ設定」を参照)

- こて先酸化に対する緩和効果をさらに上げるにはオートシャットオフの設定をします。
(1) パラメータ No. 08 の設定を有効にします。
(2) パラメータ No. 18 でシャットオフ状態へ遷移するまでの時間を設定します。
この設定時間が短ければ短いほど効果が上がります。
パラメータ No. 08 の設定を無効にすると設定した時間が経過してもシャットオフ状態へ遷移しません。

7. トラブルシューティング

⚠️注意
点検や部品交換の前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを入れても動作しない。	電源コードまたは接続プラグが外れていませんか？	▶ 接続してください。
	ヒューズが切れていませんか？	▶ ヒューズを交換してください。 再びヒューズが切れる場合には、本体（こて部／電源コードを含む）を修理に出してください。
[AHE] が表示される。	こて先の温度上昇に異常が発生しています。	▶ 電源スイッチを切り、こて先を十分に冷ましてから、電源スイッチを入れ直してください。 それでも解消しない場合はこて先を交換してください。
[C - E] が表示される。	適用外のはんだこてを接続していませんか？またはこて部のプラグが外れていませんか？	▶ 電源スイッチを切り、こて部を接続し直し、電源スイッチを入れます。
[S - E] が表示される。	こて先はしっかり差し込まれていますか？	▶ こて先を最後まで差し込んでください。 (過度な力を加えないでください)
[t - E] が表示される。	本製品の適用こて先を使っていますか？	▶ T37 または T33 シリーズのこて先に交換してください。
[--] が表示される。	本体が故障しています。	▶ 本体（こて部／電源コードを含む）を修理に出してください。
こて先にはんだがのらない。	こて先の設定温度が高すぎる、または低すぎませんか？	▶ 適正温度に設定してください。
	こて先に酸化物が付着していませんか？	▶ 酸化物を取り除いてください。 (「6. メンテナンス」を参照)
こて先温度が高すぎる／低すぎる。	オフセット値入力は正しいですか？	▶ 温度を測定し、正しい値を入力してください。 (「4-3. 操作方法」の「■ こて先温度の補正（オフセット）」を参照)
オートシャットオフが機能しない。	パラメータ No. 08 が無効 [OFF] になっていませんか？	▶ [On] に変更してください。

その他のサポート情報は web ページでご確認いただけます。
本書や web ページでご確認いただいた対処を行っても解決しない、またはその他問題点が発生した場合は購入された販売店へご連絡ください。
https://www.hakko.com/doc_fx805